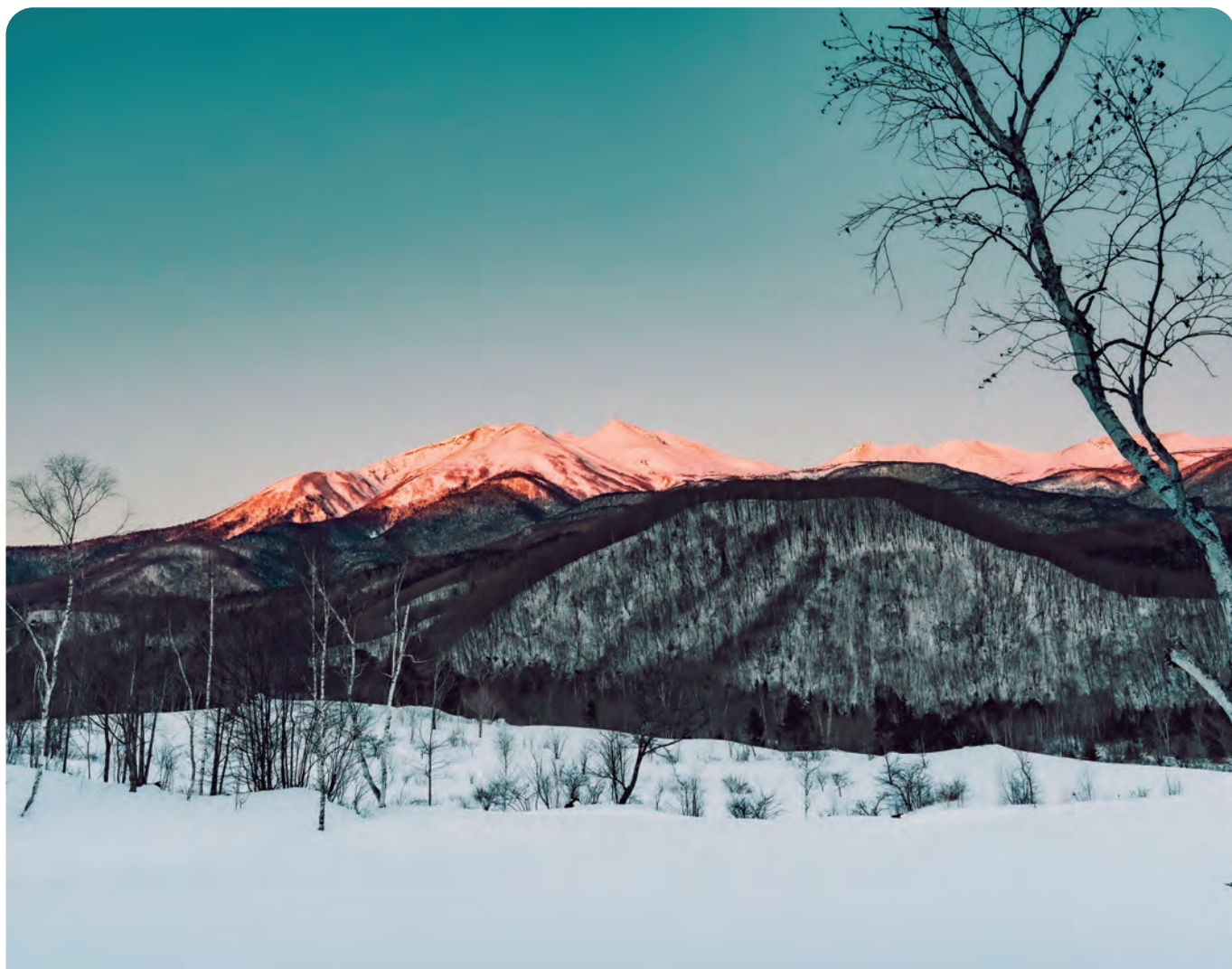


# まつもと市議会だより



乗鞍高原一の瀬園地から望む乗鞍岳のモルゲンロート（朝日に照らされて山脈が赤く染まる現象）一の瀬園地は、冬はスノーシュー、ネイチャースキーなどを楽しむことができる、スノーリゾートです。アクティビティを楽しんだあとは、高原内の豊富な温泉を堪能◎

## contents

### ② 特集 令和5年度決算審査

### ④ 9月定例会

概要…4  
委員会審査の結果から…5  
審議結果…6  
一般質問…7

⑭ 第3回臨時会、第4回臨時会 ほか

⑮ 活動レポート

⑯ キラリ★輝く市民にインタビュー！  
編集後記 ほか

「一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまち」の実現に向けて

# 令和5年度決算を厳しく審査！！

9月定例会で提出された令和5年度の決算議案について慎重に審議するため、9月26日から4日間（土日を除く。）にわたり決算特別委員会が開催され、予算の使い方は適正かつ効率的であったのかなど多角的な視点から審査を行いました。審査の中で、議員からどのような質問や意見があったのか、その一部をお伝えします。

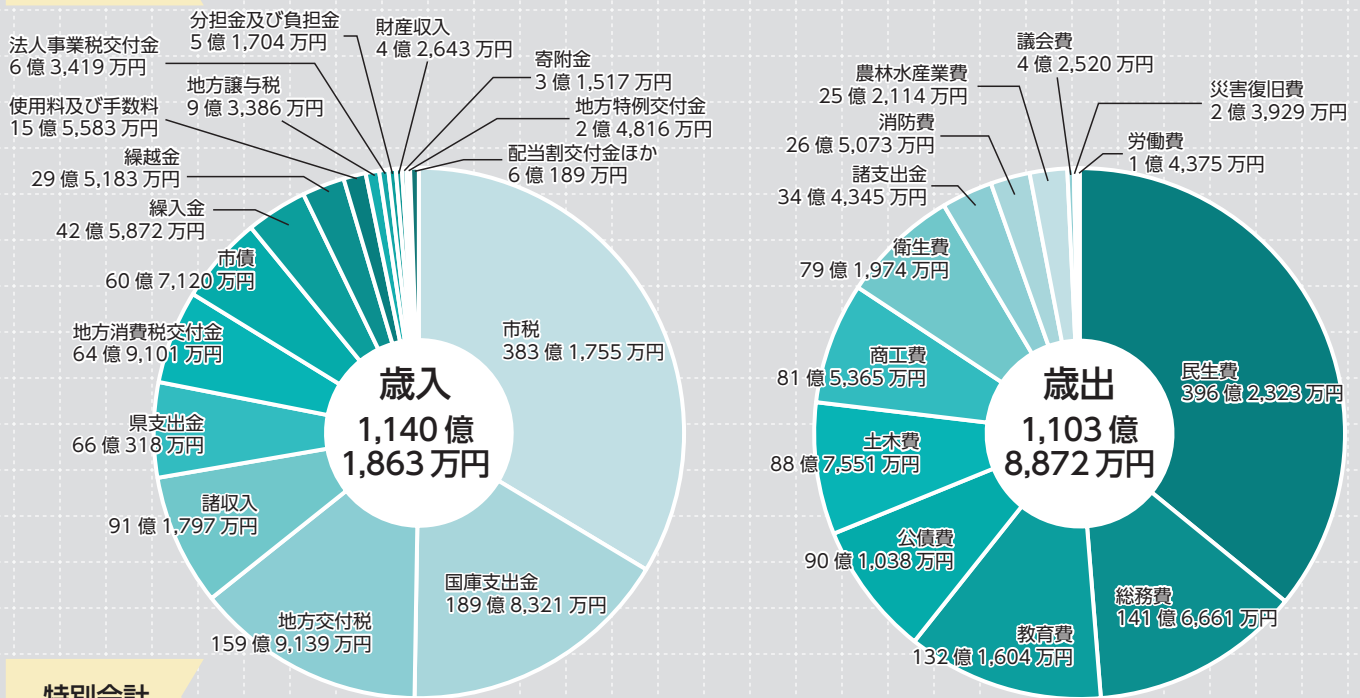


録画配信中！

決算特別委員会の様子をご覧ください。



## 一般会計



## 特別会計

歳入総額	歳出総額	差引額
523億 6,011万円	508億 8,349万円	+ 14億 7,662万円

## 企業会計

会計名	総収益	総費用	当年度純損益
水道事業	62億 9,141万円	78億 1,682万円	△ 15億 2,541万円
下水道事業	115億 893万円	131億 6,867万円	△ 16億 5,974万円
病院事業	58億 3,909万円	56億 1,898万円	+ 2億 2,011万円
上高地観光施設事業	4億 9,406万円	5億 2,474万円	△ 3,068万円

## 【教育費】 学校給食センター再整備事業費

委員

学校給食施設管理アドバイザー委託料の内容、またその効果は。

市側

現在の調理現場における業務の改善点や、松本市学校給食センター再整備基本計画策定にあたり、新センターで目指す効率的な調理動線や衛生管理、食育など専門的なアドバイスをいただき、基本設計等の仕様に反映した。



委員

新センターの建設にあたっては、学校給食の質を落とさないよう、アドバイスを活かしてほしい。

## 【総務費】 市税等徴収費

委員

市税コールセンター委託料の内容、実績、効果は。

市側

平成 22 年度から電話による市税の催告業務を委託しており、令和 2 年度からはショートメールによる催告も実施している。令和 5 年度実績（国民健康保険税分を除く。）としては、架電催告を 2,760 時間、ショートメール催告を約 1 万件、それぞれ実施し、これにより約 1 億 2,000 万円の納付効果があった。

委員

固定電話は出してもらえないことも多いが、ショートメールも活用しているとのことで、評価したい。

## 総括質疑



審査の中で、市長、監査委員の見解を求めたい場合、委員会の最終日に質問の機会を設けています。

## 市長に対し、波田駅周辺整備事業費（調査委託料 603 万円）について総括質疑がありました。



委員

波田駅周辺整備事業における調査委託料について、地元住民からも費用対効果の面から、自由通路（波田支所、波田駅、市立病院など波田駅周辺施設を歩いて一体的に利用できる通路）をつくるのが妥当なのかという疑問の声を聞いている。政策決定過程において、市民や市幹部からは、反対や慎重意見は出なかったのか。また、そうした意見に対する市長の傾聴姿勢はどうだったのか。自由通路にける市長の思いはどのようなものだったのか。

市長

波田駅周辺の最大の問題は、河岸段丘を挟んで駅周辺が分断された状態となっていることで、この地形的な特性が拠点づくりを進める際の大きな制約になっているため、ここを安全で便利に往来できることが検討の大前提であることは関係者の共通認識であった。また、まちづくりワークショップにおいても、地元住民との意見交換を重ねながら合意形成を図ってきた。一方、一部の市民や庁内から費用面に関する慎重な意見があり、そのような意見も聞きながら、整備効果やワークショップでまとめた将来像の実現に向け、これまで詳細な検討を進めてきた。このようにさまざまな意見を受け止め、ぎりぎりまで検討した結果、想定した以上の相当な費用を要することが分かってきたため、最終的に断念する形となったが、地元住民とともに、課題解決に向けたさまざまな手法を模索する姿勢を持ち、アイデアを追求してきたことには大きな意味があったと考える。

委員

自由通路は、反対意見もある中、建設を前提として地質調査が進められたが、地質調査を行わずとも自由通路の概略の設計見積を行うことは可能であり、建設可否の検討は出来たはずである。費用対効果の面で自由通路は建設すべきではないという結論が出れば、600 万円余の税金は使わずに済んだことになる。ボーリング調査実施を決める前に行うべき検討があったのではないかと。改めて、波田駅周辺整備基本計画を計画どおり進めていくつもりなのか。また、ボーリング調査結果をどのように計画に活かしていくのか。

市長

鉄道事業者であるアルピコ交通から、地質や地層により施工方法が変わるため、ボーリング調査を実施し、地質資料が提出されないと、概算工事費は出せないとの見解が示されたことから、ボーリング調査を実施しなければ、建設の可否は判断できなかった。なお、基本計画を策定する際、委託した建設コンサルタントからは、概々算の見積書は提出されており、その額は、他の地下通路の整備実績と比べ、高額ではなかった。波田駅周辺整備基本計画については、地下自由通路に関する事業は見直し、それ以外のものは計画どおり進めていく。ボーリング調査の結果は、事業見直しの判断に活かされ、現在進めている病院へのアクセス道路の設計業務においても基礎資料として委託業者に提供し活用しており、今後も波田駅周辺整備計画に基づく事業において活用していく。

# 松本市村井駅待合・学習スペース条例や松本城管理条例の一部を改正する条例のほか、令和6年度松本市一般会計補正予算などを可決



今定例会では、市長から提出された29件の議案のほか、1件の請願、2件の議会案を審議し、それぞれ議決しました。

▶委員会審査の結果はP5、審議結果の一覧はP6、一般質問はP7～13をご覧ください。

## こんなことが決まりました！

### 議案第4号 松本城管理条例の一部を改正する条例

観覧料の見直し等に伴い、所要の改正をするものです。

観覧料（個人料金）

区分	現行	電子チケット	紙チケット
一般 (現在の区分は大人)	700円	1,200円	1,300円
小・中学生 (現在の区分は小人)	300円	400円	

将来的には紙チケットの廃止を視野に電子チケットへ誘導をはかるため、紙チケットの料金を電子チケットの料金より高く設定するもの

#### 【改正の主な内容】

国宝松本城の保全活用のため、さまざまな施設整備が予定されていることから、更なる財源確保のため、観覧料（個人料金）について、令和7年4月から右記のとおり改定するものです。

### 議案第9号 令和6年度松本市松本城特別会計補正予算（第2号）

#### ●松本城公園総合整備事業 1,979万円（営繕工事費）

平成23年の県中部地震（松本地震）以降、安全性が確保できないため通行止めとされている埋橋をフォトスポットとして修景するほか、老朽化により立ち入り禁止としている藤棚を憩いの場として利用できるよう改修するものです。



朱色の橋と漆黒の天守のコントラストが美しく、国宝松本城の見どころの一つになっている埋橋

### 議案第8号 令和6年度松本市一般会計補正予算（第3号）

#### ●商業振興事業費追加 450万円



令和7年2月に予定される松本パルコの閉店等により、沈みがちなまちなかの雰囲気盛り上げるため、「商都松本にぎわい発信プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、賑わい創出に繋がるイベントを実施する経費を計上するものです。

#### 【実行委員会構成】

松本商店街連盟、松本商工会議所、松本パルコ、松本市、若手事業者など



### 議会案

実現に向けて国会や関係行政庁に送付しました。

#### 国民健康保険財政への 国庫負担の増額を求める意見書

国民健康保険財政への国庫負担を増額することを国に求めるもの

#### 私立高等学校への公費助成に関する意見書

私立高等学校に対する公費助成を国および県に求めるもの

→詳細については、市議会ホームページをご覧ください。



### 人事

下記の人事案件について、同意しました。

・副市長 みやの もと しん 宮之本 伸 氏

・人権擁護委員

きのした のぶゆき 木下 信幸 氏 もも せ ちはる 百瀬 千春 氏

こいけ あけみ 小池 明美 氏 たむら あきひこ 田村 明彦 氏

いたくら あきら 板倉 章 氏

# 委員会審査の結果から

市長から提出された議案は、それぞれ所管の委員会で審査し、その審査結果を参考に本会議で議決します。今定例会の委員会では、議案の審査のほかに、請願、陳情を審査しています。また、併せて委員協議会を開催し、市政の懸案事項について協議し、報告を受けています。ここではその一部をお伝えします。

可決

議案第 8 号 総務委員会

## 令和 6 年度松本市一般会計補正予算（第 3 号） 【松本高山ロングトレイル整備推進事業費】

信飛（しんぴ）トレイル（松本市から高山市に至る全長 115km のロングトレイルコース）を観光商品として造成し、誘客につなげるための経費を計上するものです。

こんな質問が出ました

**Q** 一般社団法人信飛トレイル準備委員会の体制強化のため、地域おこし協力隊制度を活用し、専従職員 1 名を配置することだが、具体的な人材の募集方法や任期は。

**A** 地域おこし協力隊員は、市ホームページを通じて、広く募集する。地域おこし協力隊については地方交付税による国からの財源措置が最長で 3 年間であることから、任期も最長で 3 年間と考えている。来年 8 月頃の本格的オープンを目指し、信飛トレイルのルート整備やプロモーション、財源確保に取り組んでいきたい。



飛騨山脈をまたぐ信飛トレイル

可決

議案第 8 号 厚生委員会

## 令和 6 年度松本市一般会計補正予算（第 3 号） 【児童館管理運営費追加】

当初、令和 7 年度までに遊戯室へのエアコン設置を計画していたが、児童センター 5 館（沢村・あがた・島内・芳川・中山）の設置工事を前倒しで実施するものです。

こんな質問が出ました

**Q** 全施設へのエアコン設置完了を令和 12 年度としていたが、今回の前倒しによってどの程度期間を短縮できるのか。また、エアコン設置完了を前倒しできた理由は。

**A** 計画では、令和 12 年度完了が、令和 8 年度完了となるため、4 年間期間が短縮される。当初の計画では施設の大規模改修に併せてエアコン設置工事を計画していたところ、昨今の猛暑を考慮して計画を変更し、簡易的なクーラーを速やかに設置することにより、設置完了の前倒しが可能になった。



エアコンが設置されている鎌田児童センターの遊戯室

可決

議案第 8 号 経済文教委員会

## 令和 6 年度松本市一般会計補正予算（第 3 号） 【四賀有機センター管理費追加】

令和 5 年度に四賀有機センターへの畜糞の受け入れを終了したことに伴い、施設内にある畜糞および堆肥を産業廃棄物として処分するものです。

こんな質問が出ました

**Q** 施設内にある在庫を今年度中に産業廃棄物として処分する理由は。また、今後も事業を継続し、在庫を全て堆肥化して販売することに対する見解は。

**A** 地元要望や議会からの提言がある中で、施設廃止に掛る具体的な課題が今年に入り解決したことから、早期の地元負担軽減を目的に、今年度末での施設廃止を目指し、年度内に販売が見込めない在庫 2,600 トンを処分することを決定した。有機センターは毎年赤字を計上しており、老朽化も進んでいるため、期間を延ばして事業を継続することは考えていない。



委員会で四賀有機センターを視察

可決

議案第 1 号 建設環境委員会

## 松本市村井駅待合・学習スペース条例

新たに整備される村井駅待合・学習スペースの設置および管理等について、必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。

こんな質問が出ました

**Q** 飲食は可能か。また、規則で規定するという施設の運営時間は。

**A** 飲食は可能。運営時間は、鉄道やバスの運行時間を考慮し、施設 1 階については午前 6 時 30 分から午後 9 時まで、施設 2 階については午前 9 時から午後 8 時までを予定している。多くの方に活用してもらいたい。

イメージパース



村井駅 1 階待合・学習スペース



村井駅 2 階待合・学習スペース 図書館サービスポイント



「ここが聞きたい!!」  
一般質問



本会議では、議員が市民の代表として市の政策などに対する質問を行っています。  
9月定例会では、20人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。  
ここでは、一議員につき一項目の質問と答弁の要旨を掲載しています。

各議員の一般質問の録画映像を松本市議会ホームページで見ることができます。  
二次元コードからアクセスしてください。



質問項目



開明  
しげやま  
芝山  
みほる  
稔

- 多文化共生
- 史跡松本城堀浚渫



※1  
多文化共生プラザの職員の育成

Q 松本市多文化共生プラザ（以下「プラザ」）の常駐職員が少なく、行政手続きへの同行等があると、要員不足になる。また、相談内容は複雑で多様化しており、通訳と相談ができる福祉系の人材を複数配置することが必要である。相談技能の向上、OJTによる次世代の育成も併せ、要員の充実が必要と考えるが、市の見解は。

A

住民自治局長 プラザは、委託により、月から土曜日に開設しているが、職員は1名または2名のため、行政手続きへの同行や家庭訪問等の支援は、複数体制の時間帯に制限されるという課題がある。今後、多文化共生キーパーソンとの連携事業の展開等による需要増が予想されることから、人員体制の充実も含め、プラザの在り方について検討する。



第3次松本市多文化共生推進プラン（概要版）

質問項目



開明  
かまくら  
川久保  
ふみよし  
文良

- 20年・30年後の松本市について



公共施設の今後の在り方

Q 人口減少が進む中で、公共施設の総数削減、統廃合が必要だと考えるが、公共施設の今後の在り方について、中野副市長に伺う。

A

中野副市長 健全財政を維持しながら、必要な行政サービスを提供していくためには、公共施設総量の削減、統廃合は避けて通れない課題であると認識している。一方、どの地域も取り残すことなく公平かつ継続して行政サービスを提供していくためには、一律的な統廃合による施設総量の削減ではなく、それぞれの地域の特性やニーズに応じた施設配置に加え、生活基盤となるインフラ整備はもちろんのこと、時代や市民のニーズに即した公共施設を将来に引き継いでいくことも重要な視点と考えている。職員が知恵を絞り、市民理解を得ながら、今から速やかに中長期に答えを出せるよう取り組んでいく。

※1 多文化共生プラザ 外国人住民の相談、生活支援、日本人住民との交流イベントの開催など、外国人住民の自立および社会参画を促進し、安心して快適に暮らすことのできる多文化共生社会の形成に寄与することを目的に、Mウイング内に設置している施設

※2 OJT On The Job Training の略。実際の職場で実践的に行う研修のこと

※3 多文化共生キーパーソン 外国人住民の困りごとの把握など、地域と外国人住民の橋渡し役となる人。市が設ける条件に該当した人で、登録が必要





誠の会  
うるが  
宇留賀  
ひびき  
響



質問項目

■本市に於ける和装について

和装文化をまちの発展に

Q 本市は歴史ある城下町であり、和装との親和性が高いと考える。本市における和装の振興、そして今後和装をまちの発展にどのように取り入れていくのか、市長の見解は。

A

市長 松本は、伝統と革新が共存、融合するまちだと感じている。城下町の伝統を大切にしながら、国際文化観光都市を目指す本市にとって、魅力の一つに和装を位置づけられると考えている。再来年には日中韓の東アジア文化都市としての催しが予定されており、こうした公式行事の場等で、私自身が着物を着る機会を検討していきたい。さらに、日常的に市民の皆さんが和装を着る機会が自然と増えていくことが望ましいと感じており、職員が着物で勤務する機会、また私も年に数回は日常で着物を楽しむ機会を意識していきたい。



誠の会  
なかやま  
中山  
えいこ  
英子



質問項目

■岳都松本の未来像について

美ヶ原再生に向けて

Q 本市が美ヶ原高原の魅力的な玄関口になるためには、観光と自然保護の視点を踏まえた魅力ある施設整備とロープウェイの研究が鍵になる。地元住民や専門家等も一緒にあって未来の美ヶ原を前向きに広く検討する必要があると考えるが、市の見解は。

A

文化観光部長 市民や観光客に愛され、持続可能な高原観光地として再生するためには、観光だけでなく、自然保護や学び、体験などの視点も含めた施設改修が必要だと認識している。また、未来の美ヶ原を全体的に考えて施設整備などを進めることも重要である。持続可能で誰もが楽しみ学べる場所を目指し、地元住民や専門家等を交えながら、施設改修やロープウェイの必要性を検討する仕組みを考えたい。



美ヶ原高原のシンボル「美しの塔」



誠の会  
あべ  
阿部  
こうすけ  
功祐



質問項目

■教育行政について ■平和行政について  
■公園整備について ■文化観光行政について  
■中心市街地について

都市公園へのインクルーシブ遊具の設置計画

Q 令和4年12月定例会一般質問で、インクルーシブ公園や遊具の設置について提案した。他市の事例を参考に導入を検討するとの答弁だったが、その後の設置計画について伺う。

A

建設部長 導入にあたり、県等が主催する施設体験会に参加するなど、種類や設置方法などについて認識を深めてきた。利用者が多く、身体障害者用駐車場や多目的トイレを備える都市公園を設置対象とし、まず本年度アルプス公園に1カ所設置する。来年度以降はアルプス公園に4基、あがたの森公園、芳川公園、庄内公園、物社公園、倭公園に各1カ所設置する計画で、令和8年度までに完了したいと考えている。



今年インクルーシブ遊具の設置が予定されているアルプス公園子供冒険広場

※4 東アジア文化都市 日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連するさまざまな文化芸術イベント等を実施するもの。令和8年、日本は松本市を選出している

※5 都市公園 都市公園法に定められた、国または地方自治体が設置した公園

※6 インクルーシブ公園・遊具 インクルーシブは「包括的な」という意味で、障害の有無や年齢、性別、国籍などを問わず、すべての人が楽しく遊べる公園・遊具のこと

用語解説





まつも都  
横内 裕治



質問項目

■ 公の施設の管理について

**指定管理者に求める労働条件調査票の内容と確認の効果は**

**Q** 指定管理者の業務従事者は、非正規従業員の割合が多く、安定した雇用環境や適正な労働環境の整備、安定的、継続的な事業実施には、指定管理者の労働条件の審査が重要だと考える。市は、指定管理者募集の際に労働条件調査票の提出を求めているが、その内容と確認による効果は。

A

**総務部長** 労働条件調査票により、施設で雇用する労働者全員に、法令を遵守した労働条件になっているかを確認している。具体的には「労働基準法に定める労働条件の労働者への明示」「時間外労働に係る36協定の届出」等の項目で、満たしていない項目があれば指定管理者の選定審議に進めない。この確認は、毎年のモニタリングでも実施しており、社会保険の加入条件や年次有給休暇の付与日数なども確認することで、適正な労働環境の確保に繋がっている。



まつも都  
神津 ゆかり



質問項目

■ 性被害から子どもを守るために  
■ 子ども若者がまんなかのインフラシップ社会実現のために  
■ みんなの国玉松本城とは

**子どもの尊厳と人権を守るために**

**Q** 内閣府男女共同参画局の調査によると、性交を伴う性暴力被害に最初にあった年齢は、未就学児3%、小学生8.4%、中学生12.6%、高校生年代38.9%と、小さい子どもも被害に遭っていることがわかる。性被害から子どもたちを守るため、本市が行っている対策と現状は。

A

**教育長** 子どもの性被害が増加している社会情勢を鑑みると、一歩踏み込んだ対策が必要だと実感している。市では、包括的性教育の概念を盛り込み、これまで学校現場で使用してきた市独自の性教育の指導書「すこやか」の改定作業を始めている。また先般の部活動外部指導者による生徒への性加害事案を受け、部活動に関わる全ての外部指導者に研修を実施した。そのほか、学校における性被害が疑われるケース等については、被害者を支援する県の機関から専門的な観点から助言を受けることとしている。



まつも都  
花村 恵子



質問項目

■ 「あずさ2号」の復活と特急あずさの活用  
■ 生活保護制度  
■ 「女性に選ばれるまち」とは

**ジェンダー平等推進のために**

**Q** 本市では市民を対象にジェンダー平等の意識調査を行い、その結果を男女共同参画に関わる事業に生かしているが、意識を可視化するため、職員にも意識調査を行う必要があると考える。さらに、事業をジェンダーギャップの解消という視点に絞って推進していくために、部局横断のプロジェクトチームを設置してはどうか。

A

**住民自治局長** ジェンダー平等社会の実現に向け、職員の意識を可視化することは大変重要であるため、意識調査の実施を検討する。また、既に設置している男女共同参画社会推進庁内調整会議を、ジェンダー平等の実質的な取組みを行うプロジェクトチームとして体制を強化していく。企業などの事例を研究しながら、全体で課題の共有や改善策の検討を行い、ジェンダーギャップの解消に向けて取組みを進めていきたい。



※7 指定管理者 公の施設を民間事業者等に管理してもらう制度で、その指定を受けた団体のこと  
※8 包括的性教育 身体や生殖の仕組みだけでなく、性の多様性、ジェンダー平等など幅広いテーマを含む教育



日本共産党松本市議員  
塩原 孝子  
しおはら たかこ



質問項目

- 市民に寄り添う市役所のあり方について
- 物価高騰から市民の暮らしを守る施策について
- 熱中症対策について

生活支援と納税支援の一体化を

**Q** 地方税などの滞納が増えている背景には、厳しい経済雇用情勢による失業や倒産、非正規労働の拡大など、払いたくても払えない深刻な事態があるのではないかと。滞納処分ではなく、納税してもらおうための支援が必要だと考えるが、納税課で他部署と連携して、生活支援に結びつけた事例はあるか。

**A** **財政部長** 納税者からの相談や庁内の情報共有等により、生活困窮の状況が把握できた場合、公的な扶助が必要な方に対して、税額の軽減制度を案内している。また、生活困窮等により納税が困難な場合、収入や債務の状況等を把握したうえで、「まいさほ松本」や福祉関連部署への相談を促している。実際に、今年度就労支援や健康相談等につなげ、就労に至った事例がある。また、併せて関係課で構成する支援調整会議にも参加し、納税困難者の状況把握に努めている。



日本共産党松本市議員  
犬飼 明美  
いぬかい あけみ



質問項目

- さらに子育て支援について
- 災害対策の拡充について
- 交通対策の拡充で安心の外出

子どもの遊び場の拡大

**Q** 平成30年9月定例会一般質問で、青少年の居場所として室内型スケートボード場の新設を提案した。スポーツ施設整備の優先順位を勘案しながら今後の検討課題としたいとの答弁だったが、その後の検討状況を伺う。

**A** **スポーツ本部長** 既存の公共施設の活用を優先に検討してきたが、施設全体の老朽化による大規模改修や、国民スポーツ大会関連施設の整備のため、財源の確保も課題となっている。本市では、アーバンスポーツの二一ズの高まりから、エア・ウォータリーアリーナ松本のスケートパークを拡張し、現在は波田扇子田運動公園のスケートボード場を移設・整備している。今後アーバンスポーツの施設整備の必要度について多角的に検討していく中で、室内型スケートボード場の建設も検討していく。



政友会  
太田 正徳  
おおた まさのり



質問項目

- 水道水中の有害物質について
- 生物の多様性と保護について
- 住宅省エネ補助金について
- 芸術文化を「楽しむ都」とOMFについて

OMFのプログラム構成にファンや市民の声を

**Q** 毎年プログラム構成を楽しみにしているが、どのような方法で決定しているのか。プログラムの構成にあたり、少しでもファンや市民の声を反映してもらえたら嬉しく思うが、市の考えは。

**A** **文化観光部長** プログラム構成案は、故小澤総監督が指名した主要な音楽家で構成されるアドバイザー委員が、指揮者の意向を踏まえ作成し、OMF実行委員会の審議、サイトウ・キネン財団の理事会および評議員会の承認を受け、最終的に決定される。今後は、来場者アンケートに希望演奏曲の記載項目を設けることを実行委員会に提案し、アドバイザー委員等と共有するツールとして活用したい。



© 山田毅/2024OMF



政友会  
村上 幸雄  
むらかみ ゆきお



質問項目

- カスタマーハラスメント「カスハラ」対策
- 食料安全保障と農業

市役所の「カスハラ」対策

**Q** 有識者会議の開催や実態調査の実施、また、カスタマーハラスメント防止のガイドラインを作成するなど情報の提供や共有、啓発および教育、相談および助言、その他必要な対策を行う必要があると考えるが見解は。

**A** 市長 今後の対策として、次の3点を進めていきたい。1つは来年4月に「カスタマーハラスメント対策室」を設置する。専門職員を常駐し、弁護士や医師の相談体制を整え、適切な対応を行う。2つ目は「外線電話録音機能装置」を導入する。これはカスタマーハラスメント対策だけでなく、市民サービスの向上にも繋がると考える。3つ目は、「カスタマーハラスメント防止条例」を制定する。実態調査、有識者会議の検討を踏まえ、来年度中の制定を目指す。市役所がこうした対策を行うことで、市内の企業等に対してもプラスの効果を広げていくことを意識したい。



松本市議会公明党  
大久保 美由紀  
おおくぼ みゆき



質問項目

- 山岳・高原におけるトイレ問題について
- 松本市特別史跡・御殿山小笠原家廟所について

焼岳りんどう平での野外排泄

**Q** 野外排泄を減らすためには携帯トイレの利用が有効と考えるが、普及・活用にはトイレブースと回収ボックスの設置が必要だと感じる。市の見解は。

**A** アルプスリゾート整備本部長 携帯トイレの普及には、携帯トイレ用ブースおよび回収ボックス設置が有効である一方、設置後の維持管理に多くの課題がある。例えば、ブース内を清掃するための水を設置場所まで数時間かけ、徒歩で定期的に運ぶ必要がある。また、回収ボックスは各登山口など数箇所への設置が想定され、使用済携帯トイレの回収を誰がするのか、その費用を誰が負担するのかなど検討する必要がある。今後、環境省や北アルプス登山道等維持連絡協議会、北アルプス山小屋友交会、また、登山口となる中の湯、上高地町会、高山市等関係者と連携し研究していく。



松本市議会公明党  
内田 麻美  
うちだ あさみ



質問項目

- 子育て世帯への支援について

こども食堂が果たす役割

**Q** こども食堂は食を提供するだけでなく、食を通じた居場所づくりや支え合い、見守り、また支援の必要な人を行政に繋げるといった役割も期待されている。こども食堂や地域食堂が果たす役割や存在意義について、どのように捉えているか。

**A** 市長 本市では、学校でも家庭でもない第三の居場所をつくるという広い目的から、子ども食堂に対して支援を行っている。さらに、運営団体が活動の中で、地域と連携して経済的に困窮する子どもの掘り起こしを行い、担当課と協力して支援に繋がったケースもあり、「地域での見守り」という観点で重要な役割を担っている。多世代が交流できる地域づくりの一環として捉え、引き続き支援を行っていきたい。



寿地区のこども食堂 学習支援も行う

※10 カスハラ（カスタマーハラスメント） 顧客等からのクレームや言動のうち、特に悪質で、労働者の就業環境が害されるほどの行為

※11 屋外排泄 屋外において便所が無いところで排泄すること。焼岳のりんどう平は、焼岳登山ルートの中でも屋外排泄しやすい場所のため、天候や風向きによっては臭い問題がある





松本市議会公明党  
上條 美智子  
かみじょう みちこ



質問項目

- 生理について
- 消防防災行政について

児童生徒の生理への配慮

**Q** 学校において生理休暇として休める環境整備が必須だと考えるが、文部科学省が所管する法律では認められていない。休まざるを得ない児童生徒に対して、精神的な負担の軽減や欠席扱いとならない配慮などが必要だと考えるが、見解は。

A

**教育長** 小中学生は月経周期が不安定で、特に体育の授業に関わる不安が大き。水泳か器械運動かを選べる学校が増えているが、生理による見学などが評価において不利にならないよう周知徹底する。また、保健の授業では、それぞれの体の違いを理解し、互いに配慮できるよう図っていく。欠席扱いとならない配慮については、現時点では難しいが、生理で困っていることを言いやすい環境を整えつつ、言いたくない子ども気持ちも尊重することを大事にしたい。さまざまなお事情や価値観を持つ子どもたちに寄り添った支援に努めていきたい。



松本市議会公明党  
近藤 晴彦  
こんどう はるひこ



質問項目

- 行政改革について
- 危機管理について
- 市長の政治姿勢について

庁内に政策ナッジ推進組織（以下「ユニットとナッジ」）の設置を

**Q** ユニットの設置している自治体では、財政負担をほとんどかけずに政策の実行性の向上が図られている。本市でも政策ナッジを導入した取組みにより既に成果をあげた事例もあり、ハードルは高くないと思うが、庁内へのユニット設置について、市長の見解は。

A

**市長** 政策ナッジは、メッセージの発し方という点で、日頃から職員に重要だと伝えていく。「情報発信、広報」と重なると感じる。今後課題解決や業務改善の意欲というものを職員の人材育成の基本に据えていきたいと思っている。ユニットを直ちに設置するということは現在考えていないが、政策ナッジの意識を持つ職員を育成し、必要な部署に配置するため、研修や取組みをこれまで以上に重ねていきたい。



無所属  
西澤 郁弥  
にしざわ ぶみゃ



質問項目

- 災害時における食料について
- 災害の通信インフラ

米の品薄状況

**Q** 8月に「南海トラフ地震臨時情報」が発表された。地震への備えやインバウンドによる需要の高まりなどにより、米の買い溜めで品薄状況が続いている。市としてどのように捉えているか。

A

**産業振興部長** さまざまな要因と、米の在庫が最も少なくなる8月の端境期が重なり、需要と供給のバランスが短期間で崩れたことによるものと認識している。今年は、全国的に例年に比べ米の生育が進み、市内でも9月上旬から刈り取りが始まり、新米が店頭に並び始めているため、品薄状況は徐々に改善されると見込んでいる。ただ、主食用の米は、減少する需要に合わせて生産量を調整してきた中で、農業者の高齢化や価格の低迷により、生産基盤の弱体化が進んでいる。今回の問題を一過性のものとせず、国として長期的な視点で米政策を考えるべきだと捉えている。

※12 政策ナッジ ナッジは「肘で軽く突く」という意味。そこから転じて、行動経済学の世界では「人々が自発的により良い選択ができるように手助けする手法」という意味で用いられる。政策ナッジは、従来の法規制のような人々の行動を制限するアプローチとは異なり、人々に選択の自由を残しつつ社会課題の解決を後押しするための費用対効果の高い手法（ナッジ理論を用いた政策推進）



無所属  
和久井 悟



質問項目

- のるーと松本について
- 消防団員確保のための施策について
- 熱中症対策について

「のるーと松本」の乗降ポイント

Q スーパー、診療所など高齢者中心に乗降ポイントを設定しているが、子どもの習い事などでの利用を考慮した乗降ポイントも設定すべきではないか。地域内の乗降ポイント数の上限、今後の設置の考えについて伺う。

A 交通部長 今回の実証運行では、高齢者を中心とする交通不便者の生活を

支える地域内交通を想定しているが、本格運行へ移行する場合は、小中学生や高校生など子ども利用を想定した乗降ポイントの設置を検討する必要があると考える。乗降ポイント数に上限はないが、実証運行の結果、利用者や運行事業者の意見を踏まえ、子どもと高齢者双方の利用を考慮した最適な乗降ポイントの設置を検討していく。



子どもの習い事の送迎にも便利な「のるーと松本」



無所属  
こば 陽子



質問項目

- 共生のまち「まつもと」のシンカ

共生のまち「まつもと」を象徴する複合型施設の設置を

Q 松本パルコの後利用を検討していた際は、子育て世代や若者を対象とした施設のイメージがあったが、共生のまち松本の象徴として、外国由来の方や障がいのある方なども訪れ、遊び、学び、表現し、交流できる複合施設の設置を改めて要望したい。市長の考えを伺う。

A 市長 子育て支援を始め、複合的な機能を有した施設が中心市街地の中核エリアに必要であると感じている。

検討にあたっては、多様な人々が繋がり利用できる視点が不可欠であり、徹底したユニバーサルデザインを意識し、外国人にとっても魅力的で、言語や文化の違いに配慮した施設にすることが重要である。今後、中心市街地再設計検討会議の提言を踏まえ、多様な人々が繋がり利用できる場となる施設を民間企業と連携して設置することを目指す。



無所属  
菊地 徹



質問項目

- 市民の日常と文化芸術

まちの顔である中心市街地が担う役割

Q 市は中心市街地の再設計に際し、「女性と若者にとつてのハレの場」<sup>※14</sup>にする<sup>※13</sup>と明言しているが、「はなやかなハレの場」ではなく、共生社会を象徴する「すこやかなケの場」<sup>※15</sup>を提供することこそが、市が目指す「二人ひとりが豊かさや幸せを実感できるまち」の姿に繋がるのではないかと。改めて市長が描くビジョンについて伺う。

A 市長 本市の中でも特にこの中心市街地の中核エリアについて考えたとき、「ハレの場」という要素を排除することには少し違和感があり、私としては「ハレの場でもあり、ケの場でもある」と捉えている。描くビジョンを表すならば、「伝統と革新が融合し、そして日常と非日常が共生するエリア」である。中心市街地再設計検討会議を中心に幅広い立場の方々と議論しまちづくりを進めることは、「二人ひとりが豊かさや幸せを実感できるまち」<sup>※1</sup>にとつて不可欠だと考える。

※13 のるーと松本 乗りたいときに電話やスマートフォンアプリ、LINEから予約すると、他の利用者と乗り合って希望する目的地に移動できる乗り合いバス

※14 ハレ 非日常

※15 ケ 日常



用語解説

都市計画道路中条白板線白板橋下部工工事の請負契約の締結に関する議案など、市長から提出された3件の議案を審議し、それぞれ議決しました。



議案と議決結果



各議員の賛否

◆審議結果 総：総務委員会 経：経済文教委員会

契約

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
1	工事請負契約の締結について（令和6年度松本市都市計画道路中条白板線白板橋下部工工事）	総	可決	可決
2	工事請負契約の締結について（松本市立波田小学校長寿命化改良事業第1期主体工事）の議決更正について	総	可決	可決

報告

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
報1	令和6年度松本市一般会計補正予算（第2号）	経	承認	承認

松本城南・西外堀復元事業用地の取得など、市長から提出された4件の議案と、9月定例会で継続審査となった令和5年度決算関係議案4件を審議し、それぞれ議決しました。



議案と議決結果



各議員の賛否

◆審議結果 総：総務委員会 経：経済文教委員会

決算等

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
12	令和5年度松本市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決算特別	可決	可決
13	令和5年度松本市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決算特別	可決	可決
14	令和5年度松本市歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定	認定
15	令和5年度松本市公営企業会計決算の認定について	決算特別	認定	認定

2	令和6年度史跡松本城堀浚渫業務委託に関する契約の締結について	総	可決	可決
---	--------------------------------	---	----	----

財産

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
3	市有財産の取得について（松本城南・西外堀復元事業用地）	経	可決	可決

報告

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
報1	令和6年度松本市一般会計補正予算（第4号）	総	承認	承認

契約

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
1	工事請負契約の締結について（旧松本市立博物館解体工事）	総	可決	可決

令和6年12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5	6	7
	本会議（開会） 10:00～	議案調査				
		正午 発言通告締切 17:15 請願・陳情提出期限				
8	9	10	11	12	13	14
	本会議（一般質問）10:00～		委員会審査			
				10:00 経済文教・建設環境	10:00 総務・厚生	
15	16	17	18	19	20	21
	委員会審査			本会議（閉会） 13:30～		

- 日程は変更となる場合があります。詳細は議会事務局（34-3210）へお問い合わせください。
- 本会議はライブ中継、録画配信を行っています。市議会ホームページをご覧ください。



本会議が  
視聴できます



ライブ中継 録画配信

ご報告

議会改革度ランキングで今年も高い評価をいただきました！

全国の都道府県議会と市町村議会を対象に、議会改革度の取組状況や傾向を把握することなどを目的として行われた「議会改革度調査2023」（早稲田大学マニフェスト研究所）において、松本市議会は総合ランキングで全国11位、中核市1位という高い評価をいただきました。分野別ランキングでは、特に地域住民が議会に参画できているかを示す「住民参画」が全国3位と評価が高く、これはコロナ禍前から取り組んできた地域の学生、生徒との交流事業や市PTA連合会、町会連合会などさまざまな団体との意見交換を、コロナ禍においても絶やさず継続してきた結果が実を結んだものであると考えています。

これからも松本市民の代表として、創意工夫を重ね、行動する議会として、市民の皆さんとともに地域の主体性を高めるべく、不断の議会改革に取り組んでまいります。

※1 全国11位 全国で回答した都道府県および市町村議会1562自治体中  
※2 中核市1位 全国で回答した中核市60市中



↑詳細はこちら

訂正 前号のまつもと市議会だより206号（令和6年8月1日号）に誤りがありました。訂正しお詫びいたします。

・4ページ右下「人事」の農業委員会委員 【誤】丸山茂美氏 【正】丸山茂実氏

# 活動レポート



7月から10月までの議会活動からピックアップしてお伝えします。



各委員会の行政視察報告はこちらから→

## 総務委員会行政視察

R6.7.24(水)~26(金)

中心市街地活性化や河川空間を活かした地域の賑わい創出について調査を行うため、先進地を視察しました。



高松丸亀町商店街

### 視察内容

- ・北浜テラスの取組みについて【北浜水辺協議会（大阪府大阪市）】
- ・高松丸亀町商店街再開発について【高松丸亀町商店街振興組合（香川県高松市）】ほか

## 厚生委員会行政視察

R6.7.31(水)~8.2(金)

孤独死・孤立死などに対する高齢者支援等について調査を行うため、終活サポートや、エンディングノートの作成等に取り組んでいる先進地を視察しました。



福岡市役所

### 視察内容

- ・終活サポートセンター事業について【福岡市社会福祉協議会（福岡県福岡市）】
- ・終活応援セミナー等について【福岡県福岡市役所】ほか

## 議会運営委員会行政視察

R6.8.22(木)~23(金)

現在取り組んでいる議会業務継続計画（BCP）の策定に向け、BCPを策定し、計画に基づいて実際に運用訓練を実施している、埼玉県所沢市議会、茨城県つくば市議会を視察しました。



## 前期議員研修会

R6.8.26(月)

「能登半島地震から改めて考える松本市の防災」と題し、本市の危機管理課防災専門官から、被災地支援活動を中心にお話を伺いました。



## 建設環境委員会行政視察

R6.7.24(水)~26(金)

水道事業や次世代エネルギーについて調査を行うため、水素エネルギーの活用や水道事業におけるAIの活用等に取り組んでいる先進地を視察しました。



福島水素エネルギー研究フィールド

### 視察内容

- ・水素エネルギーの活用について【福島水素エネルギー研究フィールド（福島県浪江町）】
- ・AIや機械学習を使った管路更新最適化サービスについて【宮城県仙台市役所】ほか

## 経済文教委員会行政視察

R6.7.31(水)~8.2(金)

史跡松本城における桜の管理等について調査を行うため、国指定の史跡または特別史跡に指定されている城跡の中で桜の管理に取り組んでいる先進地等を視察しました。



特別史跡姫路城跡

### 視察内容

- ・史跡津山城跡における桜の管理について【岡山県津山市役所】
- ・特別史跡姫路城跡における桜の管理について【兵庫県姫路市役所】ほか

## 市役所新庁舎建設特別委員会行政視察

R6.10.17(木)~18(金)

建替えを行った埼玉県春日部市役所（令和5年9月竣工）、千葉県千葉市役所（令和5年2月竣工）を視察しました。



春日部市役所外観



千葉市役所ロビー



## 姉妹都市交流

コロナ禍を経て、8年ぶりに藤沢市議会、高山市議会との姉妹都市交流事業を開催

## 藤沢市議会をお迎えしました R6.8.8(木)~9(金)

松本市立博物館長による講演、博物館や上高地の視察を行い、本市の取組みなどを紹介するとともに、松本の歴史や上高地の雄大な自然に触れていただきました。



松本市立博物館での研修会

【神奈川県藤沢市】海のない松本市と山に憧れる藤沢市の市民が、お互いのまち（観光地）を訪問して交流を図る「海と山との市民交歓会」をきっかけに昭和36年に姉妹都市提携

## 高山市を訪問しました R6.10.3(木)~4(金)

観光行政（山岳観光）、中部縦貫自動車道の取組みについて意見交換を行いました。また、若者による地域活性化を推進するための拠点施設「村半」や新穂高ロープウェイを視察しました。



城下町中心部に建つ町屋を活用した若者等活動事務所「村半」の内部

【岐阜県高山市】第1次府県統合（明治4年11月20日）により誕生した筑摩県に属していたことが縁で昭和46年に姉妹都市提携



## 山辺の歴史を後世へ伝える

～入山辺・里山辺地区の  
歴史を紐解いて約50年～



山辺歴史研究会 会長  
たけだ よしのり  
武田 善徳さん

郷土の文化財を後世に残すことを目的に行われた「旧山辺学校校舎の保存運動」の中、昭和51年に発足した「山辺歴史研究会」。発足以来、入山辺・里山辺地区の歴史を後世に伝えようと、精力的に活動されており、現在は92名の会員が所属されているそうです。今回は会長の武田さんにお話を伺ってきました。

### 具体的にどんな活動をされていますか？

主に地元や近隣および県内外の神社仏閣や史跡を訪ね、調査研究を行い、見聞を深めています。学識経験者を招いて講演会や研修会を開いたり、会員の研究成果の発表を行ったりもしています。

また、埋もれた郷土史文化財の掘り起こしや調査・保存・顕彰、史跡案内板・案内標柱等の設置、史跡の場所を見つけやすいよう標柱や案内板を設置したり、分かりやすい史跡の説明板を設置したりしています。

そのほか、史跡等清掃保存活動や入山辺・里山辺地区公民館、市教育文化センター、博物館事業への共催協力活動、出版物や会報等の刊行（不定期）も行っています。



近隣研修（有明山神社）

### これまでの主な実績を教えてください。

1つ目は、遺跡・文化財発掘調査研究への協力です。これまでに、針塚遺跡（昭和56

～平成3年）、千鹿頭北遺跡、林山腰遺跡、堀之内遺跡（いずれも昭和62年）、南方遺跡（平成6年）、木喰山居調査（平成16年）などに参加してきました。林山腰遺跡は林城跡大城・小城の谷間に位置し、福井の一乗谷朝倉氏遺跡に配置などが酷似しており、今後の発掘調査研究に期待がかかります。

2つ目は、標識版・標柱や案内板の設置です。史跡・文化財調査研究協力等として、町会連合会や各種団体の協力などにより、入山辺・里山辺両地区に70数基を超える数の標識版・標柱や案内板を設置し、顕彰活動ならびに案内活動に役立てています。



3つ目は、史跡等清掃整備活動です。林城跡の県史跡指定を受けて、昭和46年7月に「林城保存会」が発足し、当研究会が昭和51年から中心構成メンバーとして参加し、現在は「林城山をよくする会」として年1回主郭を中心に清掃活動を実施しています。また、協力会に「桐原城愛護会」、「山家城保存会」、「林古城会」があり、林古城会は年2回定期で林城跡大城・小城遊歩道の整備を実施しています。

4つ目は、書籍等の出版・刊行です。「山



散策道整備

家の民話」（昭和56年）、「山辺歴史研究会発足25周年記念誌」（平成14年）、「山辺の幟」（平成27年）などを発刊し、地域の皆さんに親しまれています。また、地域協力出版物として、「入山辺文化誌」（平成26年）、「里山辺地区文化財等全調査集」（平成30年）を出版し地域の文化財保護に役立てています。

### 史跡の存続活動や史跡指定の運動も行ったとお聞きしましたが。

昭和56年に針塚古墳が県の園場整備事業対象地となり、消滅の危機に陥るとの情報があり、当研究会が各方面へ保存を呼びかけ、存続活動を行いました。現在は「長野県指定史跡」となり市民の憩いの場所となっています。

また、平成25年から史跡指定運動を進めた林城跡大城・小城は、「小笠原城跡群」として平成31年に国の史跡となりました。さらなる史跡充実のため、大城に関する「水番城」を市や県の史跡に昇格させるべく、活動を展開していきたいと考えています。

### 今後予定している取組みについて教えてください。

令和8年に会発足50周年を迎えるにあたり、現在記念誌を発刊する準備を進めています。25年前の記念誌をさらに充実させ、追加再編を行いたいと思っています。

歴史に学び、後世に残し、未来に役立てる一助になることを目指しています。

インタビューの中にある林城跡について、市のホームページで見学ルートを紹介しています。QRコードからぜひご覧ください。



## 姉妹都市提携から66年 ソルトレークシティ訪問団を歓迎 R6.10.2

米ソルトレークシティ公式訪問団が松本市を訪れ、青空の下、国宝松本城本丸庭園で歓迎セレモニーが行われました。松本市議会からは上條議長、中島副議長が出席し、両市の友好関係や協力関係の更なる発展を確認しました。



エリン・メンデンホール市長率いるソルトレークシティ公式訪問団の皆さんと



ダリン・マノ ソルトレーク市議会議長と上條温松本市議会議長

広報部会 議会だより編集班

部会長 今井 ゆづすけ

副部会長 大久保 美由紀

神津 ゆかり

塩原 孝子

若林 真一

村上 幸雄

9月定例会で設置された「決算特別委員会」では、令和5年度の予算が適正に執行されたのか厳しく審査しました。今回の議論の内容が、来年度以降の予算編成に生かされ、市民の幸せと本市の発展に繋がることを願い、今後も尽力してまいります。

さて、早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。慌たしい時期になりましたが、今後も市政、議会の活動を身近に感じていただけるよう発信してまいります。